

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1043.72	2021/10/25
High	1065.50	2021/10/26
Low	1008.00	2021/10/29
Close	1022.42	2021/10/29

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3808.00	2021/10/25
High	3895.00	2021/10/26
Low	3693.00	2021/10/29
Close	3747.00	2021/10/29

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2021.00	2021/10/25
High	2075.00	2021/10/26
Low	1943.00	2021/10/28
Close	2005.00	2021/10/29

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7365.00	2021/10/25
High	7574.00	2021/10/26
Low	7092.00	2021/10/28
Close	7338.00	2021/10/29



ニュースエクスプレス

世界で相次ぐ金属盗難、車部品など コロナで価格高騰

世界で金属の盗難被害が相次いでいる。希少な貴金属が使われている自動車部品の盗難が米国や英国で2020～21年にかけて急増。日本でも同様の事件が発生したうえ、銅材などの窃盗が21年8月に前年同月比8割増えた。いずれの金属の価格も最高値をつけたことで、窃盗犯は転売を狙ったようだ。今後も金属価格は高値が続きそうで、警察は警戒を強めている。

「こうした事件は県内でこれまで聞いたことがなかった」。愛知県警関係者はこう話す。今年9月に愛知県長久手市でトヨタ自動車のハイブリッド車（HV）、プリウスの盗難事件が起きた。その後、発見された車からは、排ガス浄化に使う「触媒コンバーター」が切り取られていた。

コンバーターにはロジウムやパラジウムが使われている。1台の車での使用量は数グラムと少ないものの、プラチナ（白金）の副産物の白金族に分類され産出量が少なく、もともと高価だ。

事件の背景には金属の国際価格の高騰がある。ロジウムの価格は20年後半から急騰し21年3月に前年同月比5倍の1トロイオンス（約31グラム）あたり3万ドル弱と、史上最高値をつけた。パラジウムも先物が5月に3000ドル超と最高値を記録した。いずれも金の価格（足元で約1800ドル）を上回る。新型コロナウイルス禍や鉱山のトラブで供給が減っていたところに、景気回復で自動車向け需要の急増が重なったためだ。

海外でも盗難が多発している。英国の全国警察署長委員会（NPCC）によると、ロジウムが最高値をつけた3月に盗難件数が3200件超と直近で最多となった。全米保険犯罪局（NICB）は20年12月に全米で2300件超の触媒コンバーターの盗難を確認したという。前年同月の4倍で価格上昇に連動したもよう。

英精錬大手ジョンソン・マッセイ（JM）によると、3年ほど前まで100ドル前後だったコンバーター1個に使う白金族の価格は、今年は400～800ドル程度まで値上がりしている。NICBの4月の発表によれば、リサイクル業者はコンバーター1個を50～250ドルで買い取るという。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB0585B0V01C21A0000000/?unlock=1>

南アのイムプラッツ、Royal Bafokeng Platinumを取得へ

南アフリカのインパラ・プラチナム（Implats,IMPJ.J）は中堅PGM生産者であるRoyal Bafokeng Platinum RBPJ.Jを全面的に取得することで話し合いに入っていると10月27日に両社は合同発表を行った。

両社は互いの精査を終え、取引実施合意の協議に入っているとし、両社の株主には進捗状況の情報提供を続けるとしている。

イムプラッツの2020年度の精錬プラチナ生産は87.1トン、一方RBPlatの同年のPGM生産は13.0トンだった。

今年はプラチナ、パラジウム、ロジウム価格が高騰したことでPGM生産者の現金残高が豊潤になり、シバニェ・スティルウォーターSSWJ.Jのように買収先を積極的に探す会社が増えている。

<https://www.nasdaq.com/articles/s.africas-implats-in-talks-to-acquire-royal-bafokeng-platinum-2021-10-27>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- プラチナとロジウム合金ガーゼとしてのプラチナ触媒はカプロラクタムやヒドロキシアミンの製造にも使われている。これらの化学物質は合成繊維であるポリアミド繊維を製造する際の中間体化合物である。詳しくはプラチナ豆知識「織物になるプラチナ」（2021年10月28日）をご覧ください。<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2021/10/28>



(@wpicjapan)